

令和2年度 第2回 旭区区政会議（全体会議）におけるご意見等への対応（方針・状況）等について

※分類 ①対応済み ②令和2年度中に対応予定 ③令和3年度に対応予定（運営方針等への反映を含む）
 ④今後引き続き検討 ⑤対応困難または対応不可 ⑥その他

番号	委員名	運営方針等		ご意見等	対応（方針・状況）等 （対応できない場合は具体的な理由）	分類	担当
		年度	具体的取組				
経営課題1【子育て・教育環境の一層の充実】関連							
1	浅野委員	2年度	1-1-2 「重大虐待 ゼロ」をめ ざす取組	子どもの虐待は絶対あってはいけません。新しい命が誕生したのであれば、育てていくのは大変ですが、一日一日成長していくので楽しく、優しく子どもに接して育てていき、地域の近くに気楽に成長について話し合える場所（地域コミュニティ会館）等で相談できればと思います。	地域コミュニティ会館など地域で気軽にこどもの成長などを相談できる場として、各小学校下において子育てサロンが開催されています。また、子育てプラザ（1か所）やつどいの広場（3か所）、区内10か所以上の保育所で実施している地域子育て支援事業においても、子育て相談に対応しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で休止や規模縮小となった事業もありますが、「大阪市版ネウボラ」による保健師との顔の見える関係づくりと妊娠期から継続した家族支援を強化するなど、子育てを孤立させない取組を進めています。	①	保健福祉課 （子育て支援）
2	岡委員	2年度	1-1-2 「重大虐待 ゼロ」をめ ざす取組	子育て相談メールの現在の状況を教えてください。 ① コロナ禍で増加しているのか。 ② 相談内容はどのような事が多いか。	①子育て相談メールは、平成29年の開設以来、年間2～6件で推移しており、コロナ禍においても特に増加しているという傾向はありません。最近の若い人は、メールよりLINEなどの利用が一般的であることから、今後はLINEを活用した相談窓口の開設を検討しているところです。 ②相談内容としては、「子育てに自信がなくなった」や「イライラする」など子育てへの不安や誰にも相談できずに孤立化している実態が見えます。また、授乳の仕方、夜泣きなどに対する育児手技に関する相談もあります。育児不安がある場合や虐待に繋がる可能性のあるものについては、保健師や保育士による面接に繋げることで、子育てに対する安心感を与えることに努めています。	⑥	保健福祉課 （子育て支援）
3	岡委員	2年度	1-1-2 「重大虐待 ゼロ」をめ ざす取組	（こどもサポートネット事業に関して）コロナ禍でこれまで大丈夫だった家庭でも失職等で急激に悪化した家庭も出てきていると報道等で見ます。（特に母子家庭）学校を通じての情報は上がってきていますか。	こどもサポートネットは、当区では今年度からの取組であり、学校再開後の6月以降順次各学校において事業をスタートしておりますが、現時点ではそのような情報は把握しておりません。	⑥	保健福祉課 （子育て支援）
4	岡委員	2年度	1-1-3 制度の周知・相談機能の充実	子育て情報誌は該当家庭にすべて送付されていますか。 （各施設に置かれたものを自由に持ち帰るでは、必要としている方に届かない可能性があるため）	子育て情報誌については、各校下で開催されている子育てサロンに加えて、こども子育てプラザ・つどいの広場や社会福祉協議会、保健福祉センターなどに設置しているほか、3か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診においても配布しておりますので、必要なお家庭にお渡しができるものと考えています。	①	保健福祉課 （子育て支援）
5	井上委員	2年度	1-2-2 小学生の学 力向上支援	「学力アップアシスト事業」は基礎学力向上に有効な事業だと思います。 参加生徒を増やす努力も必要です。	当該事業は、児童の学習習慣の定着や基礎学力の向上をめざし、放課後の空き教室を利用して、指導員として地域の方々等の協力も得ながら実施しています。引き続き、支援が必要なより多くの児童に対して有効な学習機会の場を提供できるよう、各小学校とも連携して取り組んでまいります。	①	企画総務課 （企画調整）

※分類 ①対応済み
④今後引き続き検討

②令和2年度中に対応予定
⑤対応困難または対応不可

③令和3年度に対応予定（運営方針等への反映を含む）
⑥その他

番号	委員名	運営方針等		ご意見等	対応（方針・状況）等 （対応できない場合は具体的な理由）	分類	担当
		年度	具体的取組				
6	岡委員	2年度	1-2-6 こども食堂における学習等支援	こども食堂を通じての、困窮家庭等の発見や支援要請はありますか。	こども食堂ネットワーク会議を2か月に1回開催して、生活困窮家庭に関することや、子どもたちの様子などの情報交換を行っています。また、こども食堂の運営主体とSNSやメールを通じて日々ネットワークを組んで、情報が寄せられることもあり、特に要保護児童対策地域協議会でのケースの場合は、児童福祉法上の守秘義務を課して相談を受け付け、ケース方針を検討したり、中には個別ケース会議等でその家庭の支援方法等について検討したりしています。さらに今年度は、困窮度合いが高い家庭について、生活保護に繋げたケースも1件ありました。	①	保健福祉課 (子育て支援)
7	木野委員	3年度 素案	1-1-1 乳幼児とその保護者の健康を保つ支援 1-1-2 「重大虐待ゼロ」をめざす取組	あさひキッズネットの取組強化について、下記を提案します。 ・キッズカードをキッズノートに発展させて児童・生徒につなぐ ・キッズネット構成員をIT環境でつなぐ ・ネウボラ（旭区）に「こども病院」機能を活用する 上記のための事業化（予算化を含む）を求めます。	あさひキッズネットについては、参加する関係団体の熱意と協力により、顔の見える関係が強化されてきました。今年度のキッズネットの会議において、「あさひ子育て包括支援構想」を打ち出し、今後は具体的な見守り方法について、システム化していきたいと考えております。委員の提案された3項目については、個人情報取り扱い方や予算化等の課題があり、行政的な手続きについて検討を要するところです。今後、「あさひ子育て包括支援構想」の実現に向けて、「地域子育て包括支援システム」のモデル事業化など、できることから取組を進めます。	④	保健福祉課 (子育て支援・保健活動)
8	横田委員	2年度	1-1-2 「重大虐待ゼロ」をめざす取組	「地区ネットワークの仕組みを構築する」とは、地活協の中で、あるいはそれ以外の新しい組織を作られるのでしょうか。今ある組織を活かして新たな役割を持って頂くのでしょうか。地活協の活動に参加状況は、100%ではないと思います。「遠くの親戚より近くの他人」この言葉を実感される方がより多くなるよう地域での人々の関わりが十分なものとなるような仕組みを作って頂きたいのですがどのような方向でお考えでしょうか。	「重大虐待ゼロ」をめざす取組については、平成26年に創設した「あさひキッズネット」のネットワークを中心として取組を進めることを想定しておりますが、今年度から、各小・中学校において、「こどもサポートネット」が始動したこともあり、将来的に小学校区ごとの地域活動協議会での事業展開も想定しております。地域での人と人との関わり強化については、民生委員・児童委員、主任児童委員等の活動強化に加え、旭区社会福祉協議会への委託で開始した子育て見守り事業やこども食堂主宰者による見守り強化事業など、今年度は特に見守り機能の強化に努めています。支援が必要な家庭ほど、行政の支援につながりにくいというジレンマもありますので、区政会議委員の皆様のご意見もいただきながら、必要な支援が届く地域づくりに努めます。	④	保健福祉課 (子育て支援)
9	横田委員	2年度	1-1-2 「重大虐待ゼロ」をめざす取組 1-1-3 制度の周知・相談機能の充実	「子育て中のお母さんの負担軽減」について、確かに子育てのキーパーソンはお母さんだと思うのですが、子どもはご家族みなさんの関わりの中で育ててほしいので、お父さんや祖父母の方々にも積極的にかかわれるような、ご家族に向けての講座やイベントも考えて頂きたいです。	昨年度（令和元年度）から開始した大阪市版ネウボラでは、家族ぐるみの支援を掲げ、「パパと子手帳」の活用に加えて、プレパパママサロンでの沐浴体験・妊婦体験など子育てに積極的に参画するお父さんを応援する事業を推進しています。今後とも、内容を充実させながら、祖父母も含めた家庭支援を広げていきたいと考えています。	④	保健福祉課 (子育て支援・保健活動)

※分類 ①対応済み
④今後引き続き検討

②令和2年度中に対応予定
⑤対応困難または対応不可

③令和3年度に対応予定（運営方針等への反映を含む）
⑥その他

番号	委員名	運営方針等		ご意見等	対応（方針・状況）等 （対応できない場合は具体的な理由）	分類	担当
		年度	具体的取組				
10	清家委員	2年度	1-1-2 「重大虐待 ゼロ」をめ ざす取組 2-2-2 誰もが安心 して暮らせ る仕組みの 確立	コロナ禍でのいろいろなイベントや活動が中止になりましたが、感染防止対策をしながらの活動がぼちぼち始まりかけたところでの第3波で残念です。 何とか工夫して高齢者や子育て中など支援を必要とする人が孤立せず支援が届くようにしていただきたいと思います。 特にあさひ子育て見守り事業に期待しています。事業開始からこれまでの活動事例があれば知りたいです。	【高齢者への支援について】 地域における要援護者の見守りとして展開している見守りネットワーク強化事業において、見守りネットワークが地域からの情報提供や要援護者名簿の情報収集により、福祉サービスが必要であるにもかかわらず孤立してしまっている高齢者などの把握を行い、関係機関へつなげる支援を行っています。 コロナ禍におきましても、要援護者名簿により定期的な訪問や場合によっては電話により状況の確認や必要な情報提供などを行っており、今後も関係機関と連携しながら支援を行ってまいります。 【子育て支援について】 あさひ子育て見守り事業については、要保護児童対策地域協議会（要対協）における見守り方針の家庭を訪問することにより、重大虐待に繋がることを予防するほか、子どもが所属する各機関（幼稚園、保育所、小中学校、放課後デイサービス）に毎月訪問し、要対協ケース（現在40世帯程度）の見守り機能を果たしています。	①	保健福祉課 （地域福祉・ 保健活動・ 子育て支援）
11	木野委員	3年度 素案	1-1-2 「重大虐待 ゼロ」をめ ざす取組	中学生を対象に赤ちゃん人形を利用した命の教育に関して、実施概要（案）では、助産師による性教育講座とあるが、人間のライフサイクルや健全な母性・父性の育成の教育に小児科医を活用してはどうでしょうか。旭区には「こども病院」があるのに、なぜ人形だけの体験で終始するのかわかりません。すでに、体験学習として病院で中学生を受け入れています。	当事業は、「重大虐待ゼロ」をめざす取組の一環として、赤ちゃんの不適切な取り扱いによる虐待を防ぐことを目的としています。具体的には、中学1年生を対象として、赤ちゃん人形を活用し、授乳、抱っこ、おむつ替えやあやす行為などを学習することで、命の大切さとともに赤ちゃんの適切な取扱を学ぶプログラムを提供することとしており、助産師を講師とする方向で検討しています。 赤ちゃん人形については、身近に赤ちゃんに触れる環境を持ちえない現代社会においては、その活用が有効であると考えたところです。 委員ご指摘の健全な母性・父性の教育について、「こども病院」での体験学習等についても、検討させていただきたいと存じます。	④	企画総務課 （企画調整）
12	清家委員	3年度 素案	1-1-2 「重大虐待 ゼロ」をめ ざす取組 4-1-1 地域防災意 識の向上	区の教育会議でも話題になりましたが、中学生対象の「リアルケアベビー体験教室」と「防災教育」については、授業時間の確保が難しいかもしれませんが、土曜授業などを使って是非実現できるようにして欲しいです。	各学校において、授業時間を確保していただくよう調整を行い、実現に努めます。	③	企画総務課 （企画調整） 市民協働課 （防災安全）

※分類 ①対応済み ②令和2年度中に対応予定 ③令和3年度に対応予定（運営方針等への反映を含む）
 ④今後引き続き検討 ⑤対応困難または対応不可 ⑥その他

番号	委員名	運営方針等		ご意見等	対応（方針・状況）等 （対応できない場合は具体的な理由）	分類	担当
		年度	具体的取組				
経営課題2【区民一人ひとりの生活に寄り添った福祉・健康施策の展開】関連							
13	清家委員	2年度	1-1-2 「重大虐待ゼロ」をめざす取組 2-2-2 誰もが安心して暮らせる仕組みの確立	【10の再掲】 コロナ禍でのいろいろなイベントや活動が中止になりましたが、感染防止対策をしながらの活動がぼちぼち始まりかけたところでの第3波で残念です。 何とか工夫して高齢者や子育て中など支援を必要とする人が孤立せず支援が届くようにしていただきたいと思います。 特にあさひ子育て見守り事業に期待しています。事業開始からこれまでの活動事例があれば知りたいです。	10に記載		
14	浅野委員	2年度	2-2-2 誰もが安心して暮らせる仕組みの確立	一人生活者が増えていますが、私の近所、周りでは子供さんたちに面倒を掛けたくないと言って百歳体操のほか、毎日歩いて足腰を鍛えています。また自分で判断できない時は、近所の役員の方に聞いています。高齢者の場合は範囲の広い相談者を置くのではなく、近くに相談できる人がいればと思います。	高齢者の身近な相談窓口として、旭区内に3か所の「地域包括支援センター」と2か所の「ランチ（包括支援センターの出張所）」の合計5か所の相談窓口が設置されており、様々な相談を受け付けておりますが、委員のご意見のとおり、近隣に住んでおられる身近な相談者のご高齢の方にとって非常に頼りになる存在であると認識しています。 区内の約140名の民生委員は、もっとも身近な非常勤公務員として、地域で様々な生活の相談に応じ、必要に応じて関係機関につなぐ役割を担っており、高齢者の見守り活動にも主体的に取り組んでおられます。	①	保健福祉課 （地域福祉）
経営課題3【地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出】関連							
15	浅野委員	2年度	3-1-2 コミュニティの活性化	区民まつり、スポーツフェスティバル、各種スポーツ大会を開催しておりますが、ラジオ体操とか旭区だけのマラソン競技等を催してはどうでしょうか。	区内全10地域が参加する地域対抗運動会ともいべき「旭スポーツフェスティバル」は、地域コミュニティの強いつながりを示す他に類を見ない旭区独自の事業であり、平成8年度から既に24回の開催実績があります。 また、旭区では区民マラソン大会を始め、17種を数える区民大会（24区最多）を体育厚生協会との共催で開催しています。 今年度は、新型コロナウイルスの影響で、スポーツフェスティバルや区民マラソン等、多くの大会が中止となっておりますが、区民の健康維持及びスポーツを通じたコミュニティの育成に貢献している事業であり、よりよい形で継続できるよう努めます。 なお、ラジオ体操については、国による「国民保健体操」として開始された経過があり、90年以上の歴史の中で健康増進効果が証明されておりますので、地域活動協議会での取組等について推奨することを検討します。	① ③	市民協働課 （市民協働）

※分類 ①対応済み ②令和2年度中に対応予定 ③令和3年度に対応予定（運営方針等への反映を含む）
 ④今後引き続き検討 ⑤対応困難または対応不可 ⑥その他

番号	委員名	運営方針等		ご意見等	対応（方針・状況）等 （対応できない場合は具体的な理由）	分類	担当
		年度	具体的取組				
経営課題4【地域防災力・地域防犯力の強化】関連							
16	梶村委員	2年度	4-2-2 交通安全・ 自転車のマ ナーアップ 及び放置自 転車対策の 強化	商店街の中での自転車に乗っての通行が増えています。コロナ禍で若い層のお客様ありがたいことに増えているためだと思います。商店街内の自転車マナーを理解していただけないため、区役所内、学校などでポスターの掲示などして周知して頂くのも一つの手段だと思います。	自転車のマナーアップについては、横断幕などを作成し、周期的に区役所前掲示板、市民協働課カウンター下、窓口サービス課ロビーにおいて啓発掲示を行っているほか、広報あさひや旭区HPでも交通安全啓発を行っています。また、今年度の成人式においては、参加者全員に「自転車のルールパンフレット」を配布する予定です。ご意見いただきました学校での啓発につきましては、小学校は「安まち掲示板」へのポスター掲示により、また、中学校・高校への啓発につきましてはチラシの配架により行う予定です。	①	市民協働課 (防災安全)
17	清家委員	3年度 素案	1-1-2 「重大虐待 ゼロ」をめ ざす取組 4-1-1 地域防災意 識の向上	【12の再掲】 区の教育会議でも話題になりましたが、中学生対象の「リアルケアアベビ体験教室」と「防災教育」については、授業時間の確保が難しいかもしれませんが、土曜授業などを使って是非実現できるようにして欲しいです。	12に記載		
18	井上委員	3年度 素案	4-1-1 地域防災意 識の向上	小・中学生への体系的な防災教育は来年度もぜひ実施して欲しいです。町会と小・中学生との交流の場を今後も作ってほしいと思います。	防災教育につきましては、区役所として小学生高学年から中学生における体系的な学習機会を提供することで自助・共助の精神と防災・減災スキルを身につけてもらうことを想定しております。また、地域と小・中学生との交流の場につきましては、土曜授業の活用など、学校にも地域との連携を働きかけてまいります。	③	市民協働課 (防災安全)
その他							
19	岡委員	3年度 素案	—	令和3年度の運営方針における具体的取組は、withコロナを踏まえたものでしょうか。	令和3年度の運営方針は、「旭区将来ビジョン2022」のめざすべき将来像の実現に向けて策定しており、戦略としては、明確にwithコロナを想定したものではありませんが、具体的取組においては、withコロナを意識しています。例えば防犯・交通安全関連事業の中で、従来街頭で行っていた啓発活動をwithコロナに対応した非接触型としたり、地域活動協議会の事業や運営の支援についても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止や休止となっている活動の再開支援を追加しています。その他の事業についても、感染拡大状況を考慮しながら、有効となる取組を柔軟に実施していくこととします。	③	企画総務課 (企画調整)